

令和7年度(2025年度) 第2回 函館市地域学校協働活動連絡会議 会議録

| | |
|-----|--|
| 日時 | 令和7年8月5日(火) 10:00~12:00 |
| 場所 | 南北海道教育センター 大会議室 |
| 参加者 | 四戸委員, 梅田委員, 京谷委員, 酒井委員, 齊藤委員, 吉村委員, 阿久津委員, 郷六委員, 三好委員, 田中(真)委員, 田中(慎)委員, 照井委員, 神田委員, 建部地域コーディネーター(14名) |
| 事務局 | 吉田指導監, 中田教育政策課長, 山本主査, 石川主任主事(4名) |
| 傍聴 | 生涯学習文化課 葛西主査 渡島教育局 教育支援係 社会教育指導班 松田主査 渡島教育局 教育支援係 社会教育指導班 吉田社会教育主事 |

1 開会

(事務局)

本日はご多用の中, お集まりいただきありがとうございます。ただいまから, 令和7年度第2回函館市地域学校協働活動連絡会議を開会いたします。

本会議につきましては, 函館市情報公開条例第21条の規定に基づき原則公開となります。本日の議事等につきましては, 非公開となる内容がないと考えられますので, 全ての会議が公開となりますがよろしいでしょうか。

—異議なし—

会議終了後には, 発言要旨を取りまとめた会議録を作成し, 公表することとなっております。会議録の内容については, 公表前に, 発言のあった委員に確認していただく予定でありますので, よろしくお願ひします。

それでは, ここからは神田座長に会議の進行をお願いいたします。

2 趣旨説明

(神田座長)

それでは, 次第2「地方創生2.0基本構想を踏まえた対応」について, 事務局からご説明願ひします。

(中田教育政策課長)

私から, 文部科学省から通知のありました「地方創成2.0基本構想」を踏まえ

た対応についてご説明いたします。お手元にごございます資料をご覧ください。

－資料に沿って説明－

3 活動報告

(神田座長)

続きまして、次第3「活動報告」に入ります。

令和7年度の活動について、これまで、もしくはこれからの予定として、この場で簡単にご紹介願います。

(酒井地域コーディネーター)

先日、五稜郭中学校区の地域コーディネーターで集まらせていただきました。五稜郭中学校区には小学校が5校ありまして、そのうち地域コーディネーターが配置されている亀田小学校の田中地域コーディネーターと千代田小学校の阿久津地域コーディネーターと、地域とのつながりというところで地域包括センターのよろこびさん、ときとうさん、西堀さんも交えて集まったところです。その中で色々な意見が出ました。私たちの活動は学校に合わせてそれぞれ違うので、みんなですればどんな活動がいいのかとか、活動がうまく実現できていないところもそれはそれで不安があったりもするので、そういった悩みなども共有したいなというところで話し合いをしたところです。その中で、小学校全部という大きい範囲で何か活動をするとしたら、小学校から中学校に上がる子どもたちの助けにもなるので、そのような活動ができればいいのではないかということになりまして、話がとても盛り上がりました。それが実現できるかどうかはまだこれからですが、まず、「みんなでする」ということにすごく大事な意味がありました。くだらない話もしながら本音で楽しく話せたことで、地域コーディネーター間の交わりもできたと思うので、そういったつながりも大事にしながら今後の展望を考えていきたいと思います。

(神田座長)

私もこの話し合いに参加させていただいておりました。みなさんでざっくばらんに話す中でも、地域コーディネーターの役割や包括さんの思いなど、色々なお話を聞いてとてもいい時間でした。今回は中学校を筆頭に集まりでしたが、今後は、校区に関係なく、同じような思いを持たれている地域コーディネーター同士で助け合えるような話し合いをしたりとか、包括さんにもその輪の中に入れてもらったりだとか、そういった色々なつながりを作っていけたらさらに良

い方向に向かうのではないかなと思えるような話し合いでした。皆さんも何かありましたら、ぜひ遠慮なくおっしゃっていただき、みんなで活動を盛り上げていながら、学校と地域をつなげられれば良いなと思っておりますので、ぜひよろしくをお願いします。

4 その他

(神田座長)

次に、次第4「その他」ですが、事務局から何かありましたらお願いします。

—事務連絡—

5 閉会

(神田座長)

以上をもちまして、令和7年度第1回函館市地域学校協働活動連絡会議を終了いたします。本日はありがとうございました。